DACS-E350-LAN　USBデバイスサーバー機能 説明書

DACS-E350-LAN のUSB OTGポートに、DACSのUSBデバイスを接続して機能拡張を行うことができます。

（注1）この機能は DACS-E350-LAN のみで動作します。
（注2）接続可能なUSBデバイスは1台のみです。
　　USBハブを使用することはできません。
（注3）接続できるのはDACS製のUSBデバイスのみです。
　　接続可能なUSBデバイス
　　DACS-1500H、DACS-2500、DACS-2500K、DACS-8200 の
　　各シリーズ製品。

１．　接続方法

DACS-E350-LAN の microUSBポート（USB OTG） Ｊ２ に、別売のOTGケーブル（USBOTG-100）を接続します。OTGケーブルの先は、USBのAコネクタが挿入できるようになっていますので、ここにUSBケーブル（A-B）を接続します。
DACS-E350-LAN は、電源投入時にのみUSBデバイスを検索しますので、USBデバイスを接続した状態で、DACS-E350の電源を入れてください。

２．　電源供給はバスパワー

DACS-E350-LAN の microUSBポート（USB OTG）より、接続したデバイスに電源を供給しますので、上記の接続可能なデバイスを使用する限り、拡張したデバイス用の電源を準備する必要はありません。

３．　ＩＤ番号の設定

基板またはユニットのDIPスイッチによりＩＤ番号を設定します。
拡張接続するUSBデバイスのＩＤ番号は、DACS-E350-LAN のＩＤ番号とは異なる番号にします。たとえば、DACS-E350-LAN のＩＤ番号を０番としているとすると、拡張接続するUSBデバイスのＩＤ番号は１番～15番のいずれかを設定するようにします。

４．　動作

パソコンから送受信するコマンドとレスポンスの文字列は、各デバイスのUSBデータ送受信仕様と同じです。
たとえば USBデバイスのＩＤ番号を１としている場合のデジタル出力コマンドは
Ｗ１００２０００↵、これに対する応答は　Ｒ１０００２００↵ などのようになります。
カウンタ、PWM出力、モーションコントローラ、AD変換、DA変換などの機能についても、各デバイスのデータ送受信と同じ文字列の送受信動作となります。

販売	ダックス技研株式会社 ホームページ　http://www.dacs-giken.co.jp

DACSE350LU17923A